

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）	事務事業名 No. 540102 大気環境調査事業		主管課名 環境課								
	この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境								
		施策	環境と人にやさしいまち								
		基本事業	環境の保全								
	(1)事業の概要										
	降下ばいじん測定調査 大気環境調査（排ガス・臭気） その他、臨時調査及び愛知県による大気測定調査あり			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				大気環境調査回数	回						
				その指標							
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		市内1箇所の自動車排出ガス調査、5箇所の悪臭調査、5箇所の降下ばいじん調査を委託業務で実施し、汚染状況を把握して「みよしの環境」に掲載した。								
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
大気環境・市民			名称	単位							
			大気測定地点数	点							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
大気中の汚染物質状況を把握して公表する			名称	単位							
			大気調査結果の公表項目数	項目							
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
生活環境の状況を把握し改善する			名称	単位							
			公害苦情件数	件							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の活動指標		回	76	76	76	76	76	76			
(6)の対象指標		点	12	12	12	12	12	12			
		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000			
(7)の成果指標		項目	25	25	25	25	25	25			
(8)の結果の成果指標		件	16	12	20	20	20	20			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	04	項	01	目	06
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	5,397	3,703	7,158	7,050	7,050	9,220			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,397	3,703	7,158	7,050	7,050	9,220			
人件費B		千円	645	634	634	634	634	634			
正職員従事時間×人数		時間×人	57×3	57×3	57×3	57×3	57×3	57×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	6,042	4,337	7,792	7,684	7,684	9,854			
単位あたりコスト (トータルコスト/ (6)の対象指標)	千円/ 点	504	361	649	640	640	821				
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 540102 大気環境調査事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 公害問題発生時 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 大気汚染防止法により排出基準、環境基準が規定されているため、大気中の汚染物質数値を把握し公害防止に努めるため	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し酸性雨、地球温暖化等の地球規模の問題が表 変化している 変化した内容 面化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 大気汚染防止法 この事務を行う根拠又は理由 市民の健康や生活環境に悪影響が生じないよう、常に大気中の汚染状況を把握する必要がある
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由又は内容
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由又は内容 大気調査結果については既に全ての調査項目について公表しているため、向上は困難である
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 水環境調査事業 類似事業との再編の可能性 あり → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		大気状況の把握は生活環境保全のためにも重要であり、調査測定は今後も継続していく。					